

3-(5) 舗装品質管理一覽表

工種	種別	試験区分	試験項目	試験基準	規格値		試験値又は管理値						備考 (試験方法等)						
					No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	平均値	設計値							
道	舗	材	土の突固め試験	当初及び材料変化時	(500m <sup>3</sup> 未満は省略できる)									JIS・A1210					
			CBR試験(路床)	当初及び材料変化時											JIS・A1211				
			現場密度の測定	路体	1,000m <sup>3</sup> に1回 (500m <sup>3</sup> 未満は省略できる)	最大乾燥密度の 85%以上		No.			No.					最大粒径53mm以下 砂置換法 JIS・A1214 最大粒径53mm超 突砂法 舗装調査・試験法便覧(4)-185			
				路床	500m <sup>3</sup> に1回	最大乾燥密度の 90%以上		No.			No.								
工	場	工	ブルーフローリング	路床仕上げ全幅 全区間について実施			良好 不良(内容: ※不良の場合の措置: )						舗装調査・試験法便覧(4)-210						
			突固め試験	当初及び材料変化時											JIS・A1210				
			骨材のふるい分け試験		40~0mm	100%										JIS・A1102			
					53mm	95~100											JIS・A5001 表2参照		
修正 CBR 試験	当初及び材料変化時	粒状物盤 20%以上											舗装調査・試験法便覧(4)-5						
		425 μ m ふるい 通過分の PI	9以下											JIS・A1205					
盤	施	工	現場密度の測定	1,000m <sup>2</sup> に1回	締固め度 % $\bar{X}_{10} \geq 95$ $\bar{X}_6 \geq 96$ $\bar{X}_3 \geq 97$		No.			No.				舗装調査・試験法便覧(4)-185					
				但し10回に9回は93.0%以上 平板載荷試験 k30=15g/cm <sup>2</sup>			No.			No.									
			ブルーフローリング	仕上げ全区間について実施			良好 不良(内容: ※不良の場合の措置: )						舗装調査・試験法便覧(4)-210						
			突固め試験	当初及び材料変化時												JIS・A1210			
舗	粒	度	調	整	料	骨材のふるい分け試験	40~0mm	25~0mm									JIS・A1102		
							53mm	100%											JIS・A5001 表2参照
						修正 CBR 試験	当初及び材料変化時	80%以上(アスファルトコン クリト再生材90%以上)											舗装調査・試験法便覧(4)-5
								425 μ m ふるい 通過分の PI	4以下										
						現場密度の測定	1,000m <sup>2</sup> に1回	締固め度 % $\bar{X}_{10} \geq 95$ $\bar{X}_6 \geq 95.5$ $\bar{X}_3 \geq 96.5$		No.			No.						舗装調査・試験法便覧(4)-185
								但し10回に9回は93.0%以上			No.			No.					
						粒度	1,000m <sup>2</sup> に1回	2.36mm ±15%以内 75um ±6.0%以内											舗装調査・試験法便覧(2)-14
						骨材の密度及び吸水 率試験	当初及び材料変化時	表乾密度 2.45g/cm <sup>3</sup> 以上 吸水率 3.0%以下											JIS・A1109 JIS・A1110
								骨材中の粘土塊量試験	当初及び材料変化時	粘土、粘土塊量: 0.25%以下									
						粗骨材の形状試験	当初及び材料変化時	細長、あるいは扁平な 石片:10%以下											舗装調査・試験法便覧(2)-45
						ファイラーの粒度試験	当初及び材料変化時	600um 100% 150um 90~100% 75um 70~100%											JIS・A5008 舗装施工便覧 表3.3.17による
						ファイラーの水分試験	当初及び材料変化時	1%以下											JIS・A5008
工	プ	ラ	ン	ト	料	配合試験	配合ごとに1回 (50t未満は省略することができる。)	O.A.C 密度 理論密度 空隙率 飽和度 安定度 フロー値						O.A.Cとは最適アスファルト量 舗装調査・試験法便覧(3)-5					
						粒度	1日1~2回(抽出の場合)	2.36mm ±12%以内(基準粒度) 75um ±5.0%以内(基準粒度)									舗装調査・試験法便覧(2)-14		
						合材抽出試験	アスファルト量	±0.9%以内										舗装調査・試験法便覧(4)-238	
						温度測定	1時間ごと	配合設計の混合温度。 185℃を超えてはならない										温度計による	
舗	工	場	施	温度測定 (初転圧前)	測定値の記録1日4回 (午前・午後各2回)	110℃以上								温度計による					
				現場密度の測定 (コア密度)	1,500m <sup>2</sup> に1回	$\bar{X}_{10} \geq 96$ $\bar{X}_6 \geq 96$ $\bar{X}_3 \geq 96.5$									舗装調査・試験法便覧(3)-91				
				アスファルト量抽出試験	1,500m <sup>2</sup> に1回	締固め度 % $\bar{X}_{10} \pm 0.55$ $\bar{X}_6 \pm 0.50$ $\bar{X}_3 \pm 0.50$									舗装調査・試験法便覧(4)-238				
				粒度 (2.5mmふるい)	2.36mmふるい 1,500m <sup>2</sup> に1回	但し10回に9回は±0.9%以内										舗装調査・試験法便覧(4)-238			
舗	工	場	施	粒度 (75umふるい)	75umふるい 1,500m <sup>2</sup> に1回	$\bar{X}_{10} \pm 3.5$ $\bar{X}_6 \pm 3.5$ $\bar{X}_3 \pm 3.0$							舗装調査・試験法便覧(4)-238						
				但し10回に9回は±5.0%以内															